

2019年度 第2四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量については、一部業種ではやや改善したもののDIが7業種全てでマイナス値となり、前回調査に引き続き全体的に減少気味ではあるものの、減少幅は縮小した。

今後の見通しについても、受注量同様に全ての業種でDIがマイナス値となり、長引く米中貿易摩擦等、国際情勢の不透明感から全体的に慎重な見通しとなった。

受注単価、資金繰りおよび採算状況についても、全体的に大きな変化は見受けられないものの、一部の業種では若干の悪化が見受けられた。

また、受注余力については、7割近くの企業が「受注余力あり」と回答したが、2018年6月調査以来5四半期ぶりに「受注余力なし」と回答した企業の割合が増加した。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全体的に減少気味ではあるものの、減少幅は縮小した。
- (2)受注見通し : 全体的に慎重な見通し。
- (3)受注単価 : 若干の悪化が見られた。
- (4)資金繰り : 一部の業種で若干の悪化が見られた。
- (5)採算状況 : 一部の業種で「赤字」企業の割合が増加した。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が68.6%と、前期と比較して2.0ポイントの低下となった。
(「受注余力あり」企業が減少した＝プラス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち約40社に対して、訪問等により景況感についてヒアリングを実施。

不安定な国際情勢の影響から、工作機械業界や建機業界の部品及び製品を取り扱う企業からは、前期と比較して大幅な受注減であるとの意見が散見された。

昨年未からの落ち込みが続いている半導体業界についても低調であるとの回答が多く、今後の見通しについても不安視する企業が多い中、来年に国内での本格的サービス開始が見込まれる5Gへの期待感を表す企業の声や、日韓間の半導体材料輸出管理強化に伴い一部の大手メーカーが半導体部品製造拠点を他国に移したことによる特需を受け、非常に多忙であるとの府内企業の声もあった。

また、車載部品を扱う企業については、自動車業界のEV化に係る試作・開発が進んでいることから、比較的落ち込み幅は小さいとの意見も聞かれた。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2019年7月～9月
(2019年9月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 254社 (回答率 84.7%)

公益財団法人 **京都産業21**

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2019年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

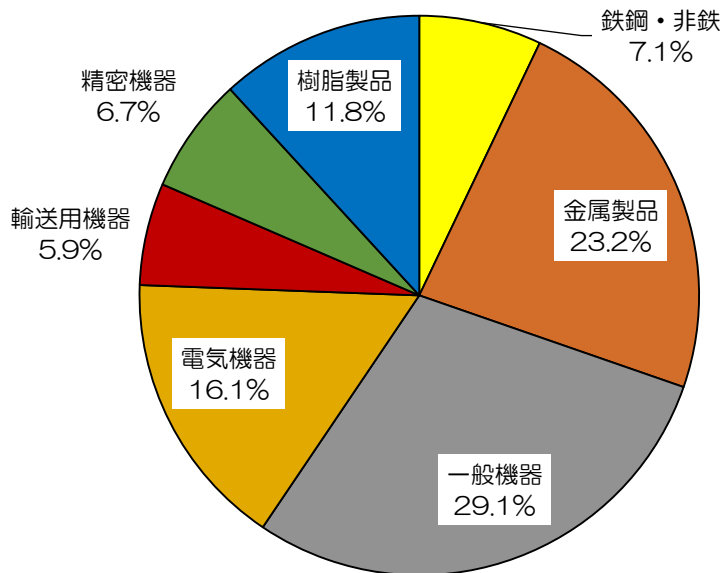
(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	254社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	18社	(7.1%)	
金属製品関係	59社	(23.2%)	
一般機器関係	74社	(29.1%)	
電気機器関係	41社	(16.1%)	
輸送用機器関係	15社	(5.9%)	
精密機器関係	17社	(6.7%)	
樹脂製品関係	30社	(11.8%)	

④ 回答率 84.7% [前回：81.7%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.7%		1 2.4%			3 10.0%
~300万円	17 6.7%		4 6.8%	2 2.7%	5 12.2%	2 13.3%	1 5.9%	3 10.0%
301~999万円	14 5.5%		3 5.1%	7 9.5%	1 2.4%	1 6.7%		2 6.7%
1000~2000万円	143 56.3%	10 55.6%	37 62.7%	44 59.5%	22 53.7%	4 26.7%	10 58.8%	16 53.3%
2001~5000万円	56 22.0%	5 27.8%	13 22.0%	18 24.3%	9 22.0%	2 13.3%	4 23.5%	5 16.7%
5000万円超	19 7.5%	3 16.7%	1 1.7%	3 4.1%	3 7.3%	6 40.0%	2 11.8%	1 3.3%
合 計	254 100%	18 100%	59 100%	74 100%	41 100%	15 100%	17 100%	30 100%

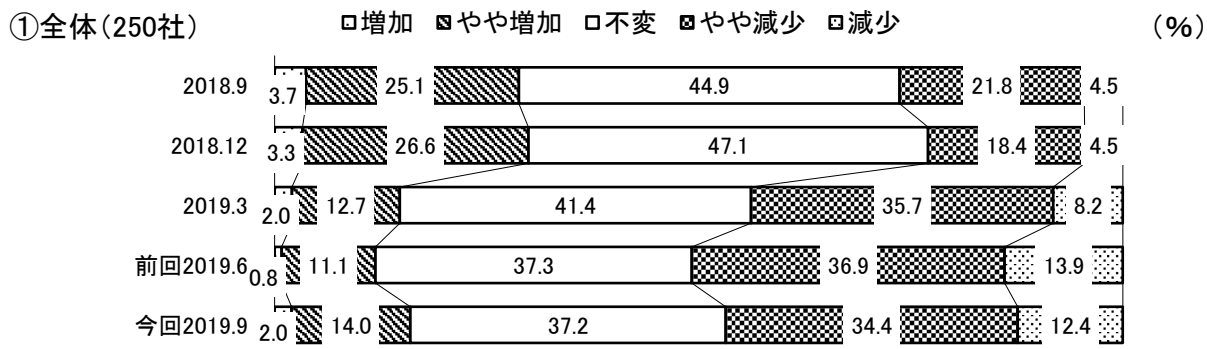
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

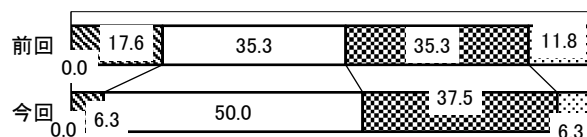
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 7.9%	4 22.2%	3 5.1%	6 8.1%	3 7.3%			4 13.3%
6~10人	28 11.0%	2 11.1%	4 6.8%	10 13.5%	2 4.9%	3 20.0%	3 17.6%	4 13.3%
11~20人	75 29.5%	3 16.7%	18 30.5%	29 39.2%	10 24.4%	1 6.7%	4 23.5%	10 33.3%
21~30人	36 14.2%	3 16.7%	12 20.3%	9 12.2%	6 14.6%		2 11.8%	4 13.3%
31~50人	42 16.5%	3 16.7%	10 16.9%	8 10.8%	10 24.4%	4 26.7%	4 23.5%	3 10.0%
51人以上	53 20.9%	3 16.7%	12 20.3%	12 16.2%	10 24.4%	7 46.7%	4 23.5%	5 16.7%
合 計	254 100%	18 100%	59 100%	74 100%	41 100%	15 100%	17 100%	30 100%

3. 調査結果

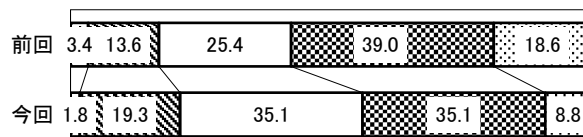
(1) 受注量について



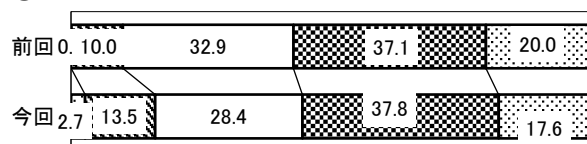
②鉄鋼・非鉄(16社)



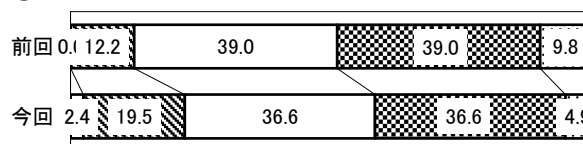
③金属製品(57社)



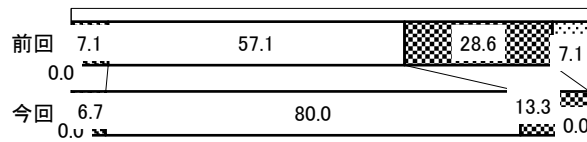
④一般機器(74社)



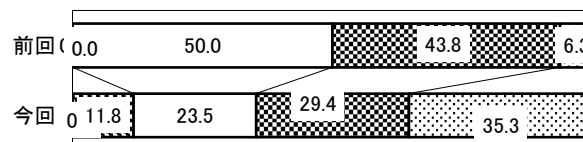
⑤電気機器(41社)



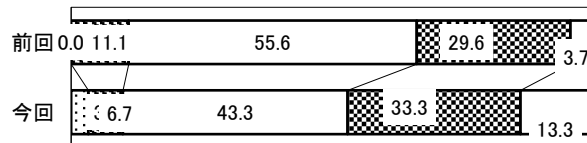
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲30.8となり、前期（4月～6月期）のD I値▲38.9と比べ8.1ポイント上昇し、前回調査に引き続き全体的に減少気味ではあるものの、減少幅は縮小した。

○業種別

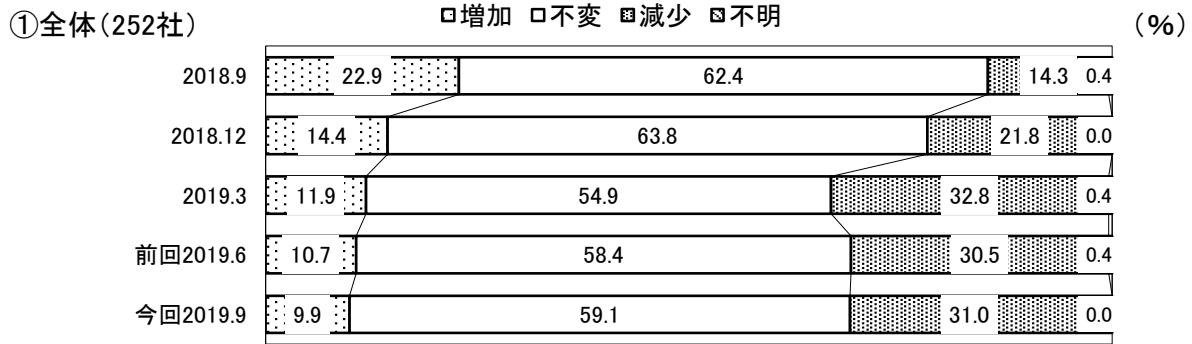
・D I値は、輸送用機器（▲6.6）、電気機器（▲19.6）、金属製品（▲22.8）、樹脂製品（▲36.6）、鉄鋼・非鉄（▲37.5）、一般機器（▲39.2）、精密機器（▲52.9）と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、輸送用機器（22.0ポイント）、金属製品（17.8ポイント）、電気機器（17.0ポイント）、一般機器（7.9ポイント）の4業種で上昇。精密機器（▲2.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲8.0ポイント）、樹脂製品（▲14.4ポイント）の3業種で低下している。

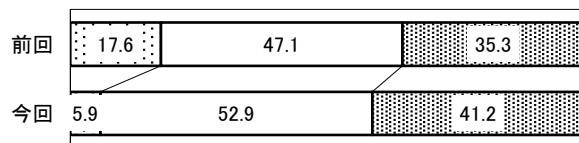
・輸送用機器で「やや減少」もしくは「減少」と回答した企業の割合が減少した。

・精密機器で「減少」と回答した企業の割合が増加した。

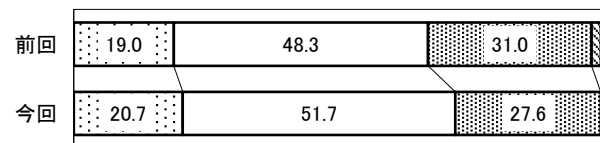
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



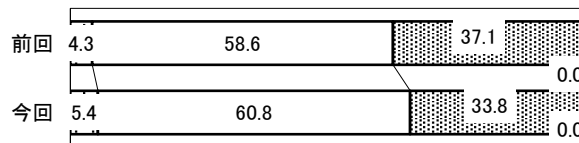
②鉄鋼・非鉄(17社)



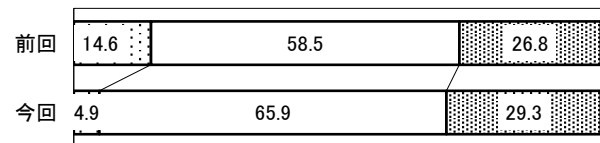
③金属製品(58社)



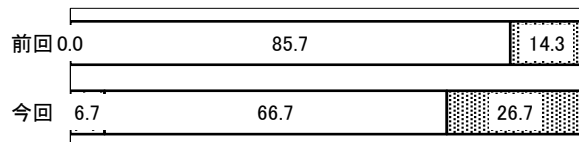
④一般機器(74社)



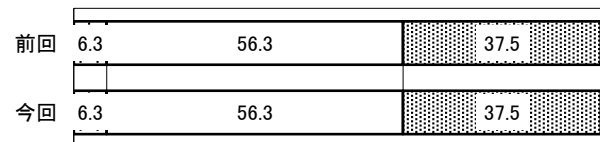
⑤電気機器(41社)



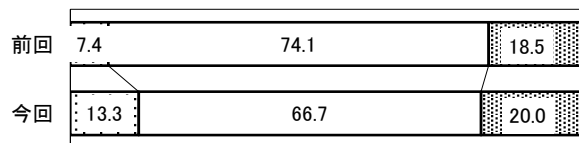
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・次期(10月~12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲21.1となり、前期(4月~6月期)調査時のD I 値▲19.8と比べ1.3ポイント低下し、長引く米中貿易摩擦等、国際情勢の不透明感から全体的に慎重な見通しとなった。

○業種別

・D I 値は、樹脂製品(▲6.7)、金属製品(▲6.9)、輸送用機器(▲20.0)、電気機器(▲24.4)、一般機器(▲28.4)、精密機器(▲31.2)、鉄鋼・非鉄(▲35.3)と、受注量についての調査同様に7業種全てでマイナスとなった。

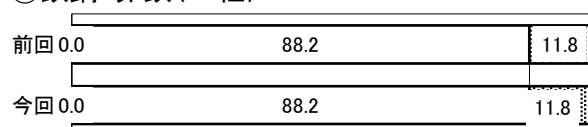
・D I 値を前期と比較すると、精密機器のみ前期比±0ポイントとなり、金属製品(5.1ポイント)、一般機器(4.4ポイント)、樹脂製品(4.4ポイント)の3業種で上昇。輸送用機器(▲5.7ポイント)、電気機器(▲12.2ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲17.6ポイント)の3業種で低下している。

・鉄鋼・非鉄、電気機器で「増加」と回答した企業の割合が減少した。

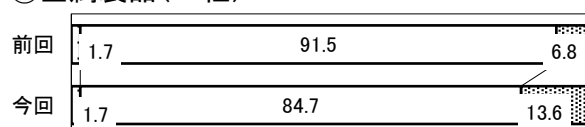
(3) 受注単価について



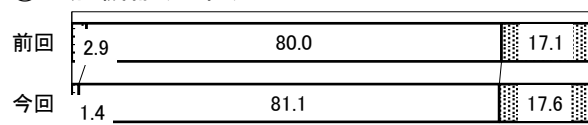
②鉄鋼・非鉄(17社)



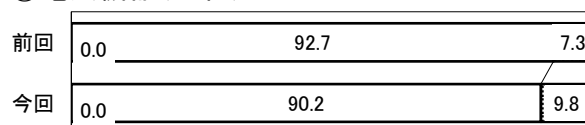
③金属製品(59社)



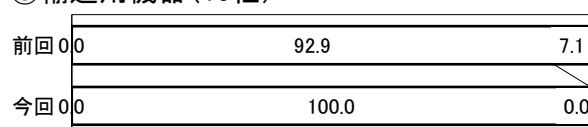
④一般機器(74社)



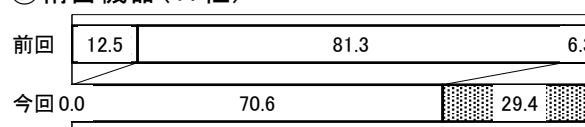
⑤電気機器(41社)



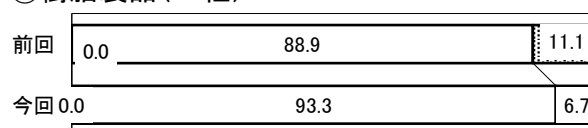
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

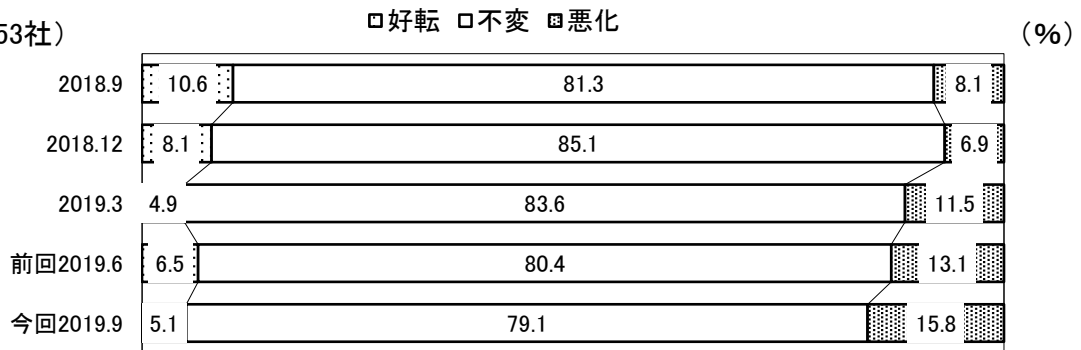
- ・7月～9月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲12.6となり、前期（4月～6月期）のD I値▲8.7と比べて3.9ポイント低下と、若干の悪化が見られた。

○業種別

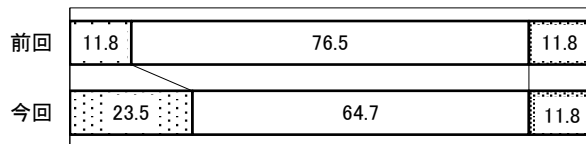
- ・D I値は、全て「不変」との回答であった輸送用機器は±0となり、樹脂製品（▲6.7）、電気機器（▲9.8）、鉄鋼・非鉄（▲11.8）、金属製品（▲11.9）、一般機器（▲16.2）、精密機器（▲29.4）の6業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄のみ前期比±0ポイントとなり、輸送用機器（7.1ポイント）、樹脂製品（4.4ポイント）の2業種で上昇。一般機器（▲2.0ポイント）、電気機器（▲2.5ポイント）、金属製品（▲6.8ポイント）、精密機器（▲35.6ポイント）の4業種で低下した。
- ・金属製品、精密機器で「低下」と回答した企業の割合が増加した。

(4) 資金繰りについて

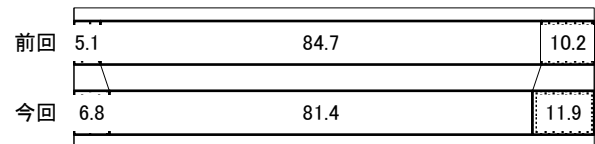
①全体(253社)



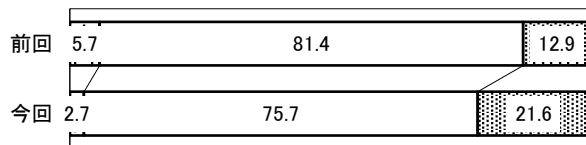
②鉄鋼・非鉄(17社)



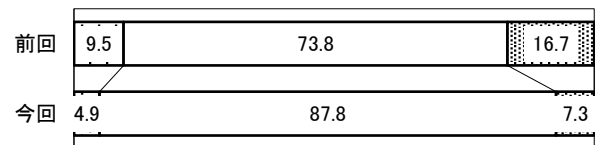
③金属製品(59社)



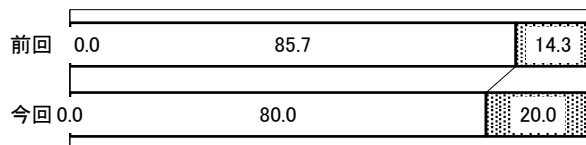
④一般機器(74社)



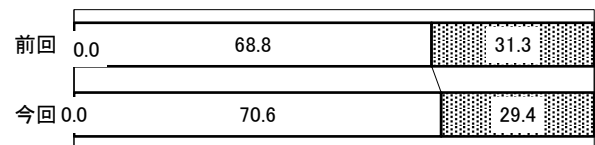
⑤電気機器(41社)



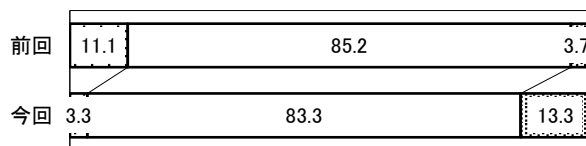
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・7月～9月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲10.7となり、前期(4月～6月期)のD I値▲6.6と比べて4.1ポイント低下と、全体として大きな変化はなかったものの、一部の業種で若干の悪化が見られた。

○業種別

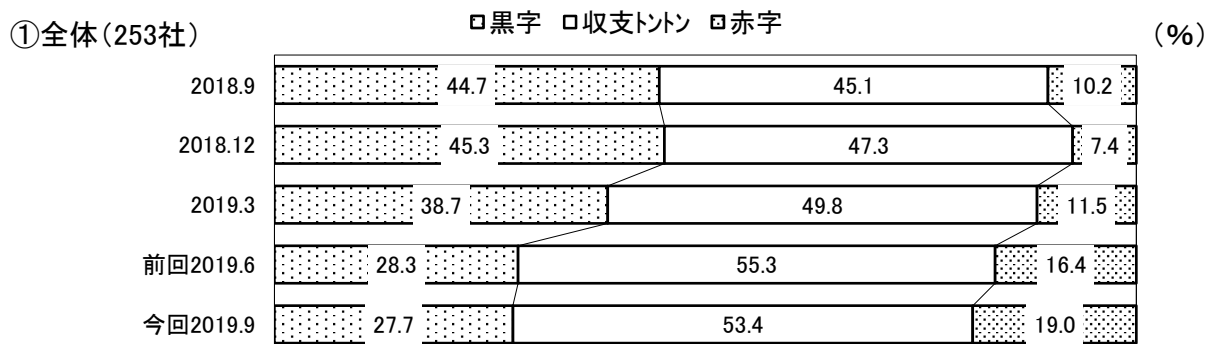
・D I値は、鉄鋼・非鉄(11.7)の1業種のみ上昇。電気機器(▲2.4)、金属製品(▲5.1)、樹脂製品(▲10.0)、一般機器(▲18.9)、輸送用機器(▲20.0)、精密機器(▲29.7)の6業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、金属製品のみ前期比±0ポイントとなり、鉄鋼・非鉄(11.7ポイント)、電気機器(4.8ポイント)、精密機器(1.9ポイント)の3業種で上昇。輸送用機器(▲5.7ポイント)、一般機器(▲11.7ポイント)、樹脂製品(▲17.4ポイント)の3業種で低下した。

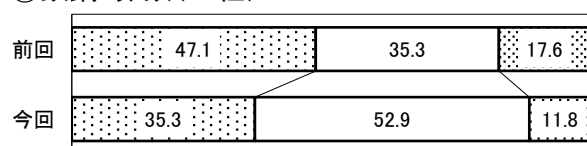
・一般機器、樹脂製品で「悪化」の割合が増加した。

・電気機器で「悪化」の割合が減少した。

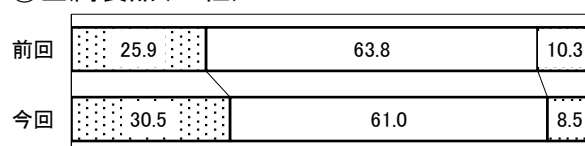
(5) 採算状況について



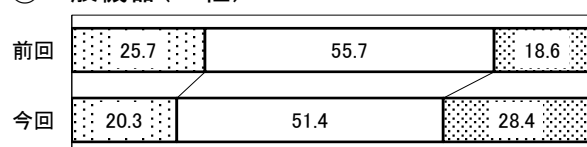
②鉄鋼・非鉄(17社)



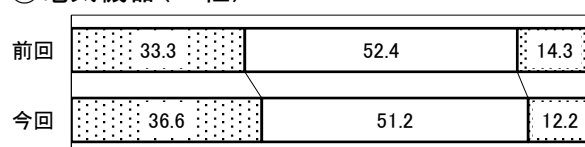
③金属製品(59社)



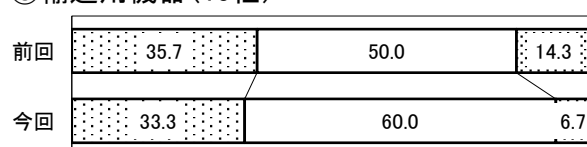
④一般機器(74社)



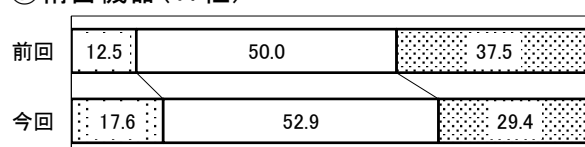
⑤電気機器(41社)



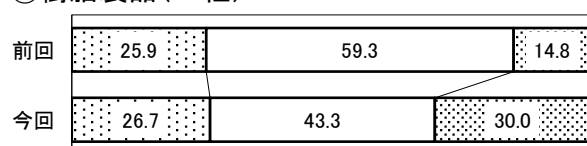
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・7月～9月期の採算状況の業況判断D I (「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は8.7となり、前期(4月～6月期)のD I値11.9と比べ3.2ポイント低下し、全体として大きな変化はなかったものの、一部の業種で「赤字」企業の割合が増加した。

○業種別

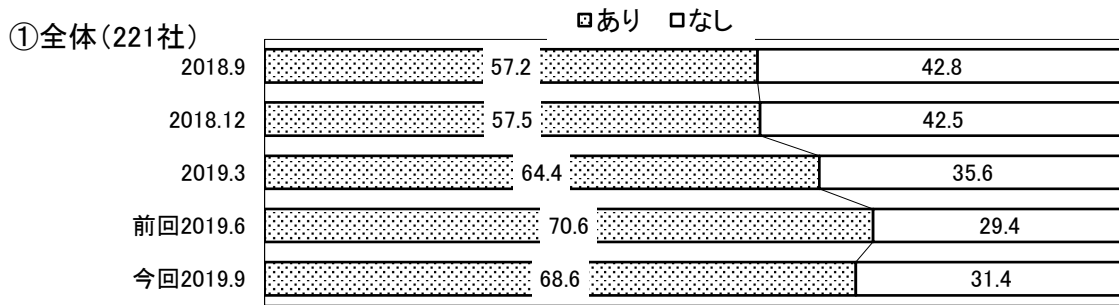
・D I値は、輸送用機器(26.6)、電気機器(24.4)、鉄鋼・非鉄(23.5)、金属製品(22.0)の4業種でプラスとなり、樹脂製品(▲3.3)、一般機器(▲8.1)、精密機器(▲11.8)の3業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、精密機器(13.2ポイント)、金属製品(6.4ポイント)、電気機器(5.4ポイント)、輸送用機器(5.2ポイント)の4業種で改善傾向が見られたが、鉄鋼・非鉄(▲6.0ポイント)、樹脂製品(▲14.4ポイント)、一般機器(▲15.2ポイント)の3業種は悪化傾向となった。

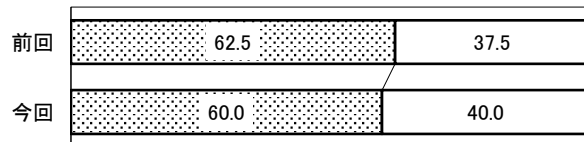
・一般機器、樹脂製品における「赤字」企業が増加した。

(6) 受注余力について

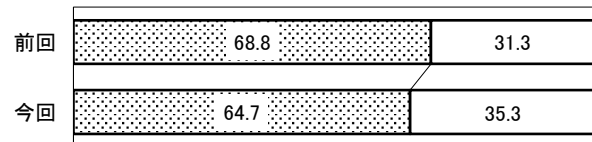
(%)



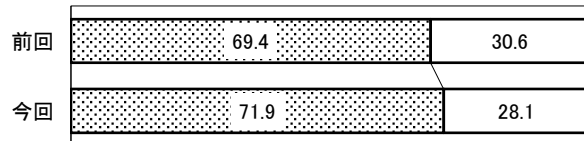
②鉄鋼・非鉄(16社)



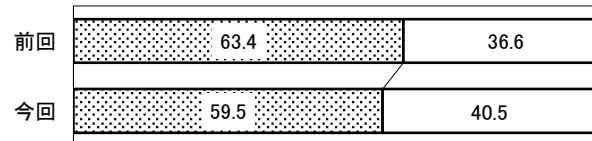
③金属製品(48社)



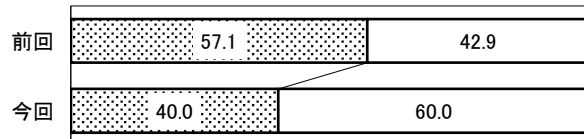
④一般機器(62社)



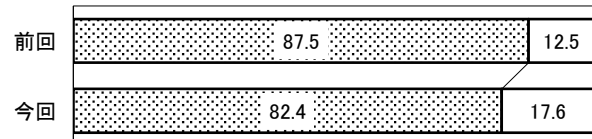
⑤電気機器(41社)



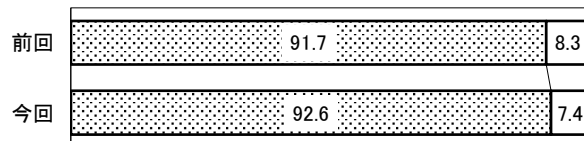
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(24社)



○全体

・7月～9月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は37.2となり、前期(4月～6月期)のD I値41.2と比べ4.0ポイント低下した。

(「受注余力あり」企業が減少した＝プラス傾向)

・7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が68.6%と、前期と比較して2.0ポイントの低下となった。

○業種別

・D I値は、樹脂製品(85.2)、精密機器(64.8)、一般機器(43.8)、金属製品(29.4)、鉄鋼・非鉄(20.0)、電気機器(19.0)、輸送用機器(14.2)の6業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。輸送用機器(▲20.0)の1業種のみ「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。

・D I値を前期と比較すると、一般機器(5.0ポイント)、樹脂製品(1.8ポイント)の2業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。鉄鋼・非鉄(▲5.0ポイント)、電気機器(▲7.8ポイント)、金属製品(▲8.1ポイント)、精密機器(▲10.2ポイント)、輸送用機器(▲34.2ポイント)の5業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp